

成果の説明書

(氏名) 佐藤英人	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 ○教育上の成果に関する事項 ・本年度は、初年次ゼミ（2 クラス）、演習Ⅰ、現代の都市問題、都市地理学、都市再開発論を担当した。学生が予習できるように、毎回、レジュメを Dropbox で事前配布するように努めた。授業中はパワーポイントを利用して、図表や写真を提示するなど、イメージのしやすい授業運営を心がけた。加えて、学生との対話を大切に、机間巡回の際、積極的に問いかけを行った。その結果、「授業に関する学生アンケート（前期）」において、現代の都市問題（履修者 218 名）の総合評価は 90.2 点、初年次ゼミ（履修者 11 名）の総合評価は 91.1～92.7 点となり、大学全体の平均点（82.2 点）を大きく上回った。とりわけ教員の熱意と話し方の項目で高い評価を得た。 ・ゼミ内定生（2 年生）を対象としてプレゼミを実施した（隔週火曜日 5 時限）。プレゼミでは学生の興味関心に基づいて、リチャード・フロリダ 2014『新 クリエイティブ資本論—才能が経済と都市の主役となる』、ダイヤモンド社、488p を輪読した。 ・本年度よりゼミ研究をスタートさせた。テーマは高崎市中心部における空きオフィスビルの実態調査（2015 年 8 月 28 日～29 日）であり、2 年生、3 年生合同でオフィスビルに入居するテナント企業を調べ上げた。成果の一部は 2015 年 10 月 31 日の三扇祭プレゼンテーション大会で発表し、見事優勝に輝いた。年度末に報告書を出版する。 ・机上の議論のみならず、本ゼミでは国内外のエクスカッション（巡検）を通じて、地域を観察する能力を養っている。本年度は少子高齢化による人口減少に直面した多摩ニュータウン巡検（2015 年 11 月 22 日）と経済発展著しい台湾・高雄市巡検（2015 年 9 月 15 日～18 日）を実施した。いずれも大変有意義な巡検となった。 ○研究上の成果に関する事項 1) 著書・学術論文等 ・佐藤英人 2016『東京大都市圏郊外の変化とオフィス立地—オフィス移転からみた業務核都市のすがた』(単著), 古今書院, 160p ・佐藤英人 2016「明治末期～昭和初期における製糸場の立地変化」, 高崎経済大学地域科学研究所 2016『富岡製糸場と群馬の蚕糸業』(分担執筆), 日本経済評論社, pp159-174 ・佐藤英人 2016「簡単・便利な地理情報システム—MANDARA と Excel を利用した主題図の作成方法」, 日本地域政策研究 16, pp98-101 ・佐藤英人 2015「仕事と家事の両立を目指した在宅就業の現状と課題—女性の居住地移動に着目して」, 日本地域政策研究 15, pp4-11 ・佐藤英人 2015「書評：富田和暁（2015）：『大都市都心地区の変容とマンション立地』, 古今書院, 169p」, 地理学評論 88(4), pp401-403 ・佐藤英人 2015「コラム：GIS、市町村合併」, 半澤誠司ほか編著『地域分析ハンドブック—Excel による図表づくりの道具箱』(分担執筆), ナカニシヤ出版, p83, p149 2) 学会発表・講演会等 ・佐藤英人「オフィス移転からみた本社部門の立地選好—東京大都市圏の事例を中心に」, 第 2 回大阪湾ベイエリア地域経済分析研究会, 尼崎市中小企業センター, 2015 年 11 月 17 日 ・佐藤英人「仕事と家庭の両立を目指した在宅ワークの現状と課題—東京圏の既婚女性に着目して」, 日本地域政策学会【神奈川大会】第 1 分科会（都市）, 明治大学生田キャンパス, 2015 年 7 月 12 日	

3) 競争的研究資金等

- ・平成 27 年度高崎経済大学学術図書出版助成，交付金額：800 千円
- ・人口減少社会が直面する郊外住宅地の選別化に関する研究，日本学術振興会 平成 25～27 年度 科学研究費補助金（基盤研究 C），課題番号：25370920，交付金額：2,400 千円，研究代表者（継続）

○職務上の成果に関する事項

1) 学外業務

- ・日本地理学会 財務専門委員会 委員（2008 年 4 月－現在）
- ・日本地理学会 集会専門委員会 委員（2009 年 4 月－2016 年 3 月）
- ・日本地域政策学会 編集委員会 委員（2014 年 4 月－現在）
- ・日本地域政策学会 関東支部 事務局長（2016 年 2 月－現在）

2) 学内業務

- ・広報室の委員として定例会議に出席し、大学案内パンフレット、たかけい学報などの発行、大学案内ビデオの制作などに参画した。また、高校から依頼される出前授業の担当者調整、自身も茨城県立下館第一高校へ出講した（2015 年 10 月 17 日）。
- ・地域科学研究所の総務企画委員長として定例会議に出席し、大学駅設置プロジェクトの調査、富岡製糸場世界遺産登録記念事業（学術図書執筆）などの業務に参画した。
- ・オープンキャンパス（2015 年 7 月 19 日）では、パネル展示と模擬授業を行った。
- ・ラジオ高崎「ラジオゼミナール」に、「地方創生と地域づくり－居住と住まいの視点から」(2015 年 6 月 27 日放送)、「地方創生と地域づくり－雇用と働き方の視点から」(2015 年 7 月 4 日放送) と題して出演した。

2 その他の事項 特になし。

3 次年度以降の計画・抱負

教育上の計画としては、新たなゼミ研究「高崎市の空き家に関する実態調査」を立ち上げる。すでにプレゼミで既存資料の収集やデータ分析に着手しており、新年度より具体的な調査を開始する予定である。また、授業改善にも積極的に取り組み、教員－学生間、学生間の双方向教育（集団討論の時間を増やすなど）を引き続き実践していきたい。